

2025 年度絵画科油画専攻学部入試 出題意図

・一次試験 | 実技試験

出題「手と粘土との関わりから描きなさい」

粘土 1 kg を配付し、自身の手と粘土との実践的な経験を通して描く課題を出題した。素材を変容させる過程での発見をどのように描くのか。素材に対して積極的に関わる姿勢や観察力、発想力、描写力を総合的に問う内容とした。

・二次試験 | 実技試験

出題「素材を一つにする 素材との関わりを自由にスケッチし、キャンバスに油絵具で描きなさい」

様々な素材が入っている箱を一つ配付し、一次試験に引き続き、素材との関わりを通して描く課題を出題した。素材は十種類。受験生には素材の情報を開示しないことで、先入観を持たずに素材と関わるができる状況を設定した。「素材を一つにする」ということをどのように捉え、絵の主題をどのように自ら見つけ、どのように描くかをスケッチブックと油彩で表現する事を問うた。

・二次試験 | 面接試験

二次試験は初日、二日目の実技試験、三日目が面接試験とした。二次試験で提出された絵画を伴って面接をおこなった。

「この油彩を制作するうえで、こだわった点や表現したかったことについて教えてください。」

を共通質問とし、制作の意図や観点を具体的に言語化し得るかを問うた。

また、自身の意欲や目的に対して自覚的であるかを問う追加の質問をした。